

わたしから始める、世界が変わる

# Hunger Zero News

2020. 9  
No.362

ハンガーゼロ・ニュース

1分間に17人 (内12人が子ども)  
1日に2万5,000人が  
1年間では約1,000万人が  
飢えのために生命を失っています

## Contents

国連が飢餓人口を下方修正? P.2

「世界食料デー月間」10/1-11/30 P.3



世界食料デー 2019 募金使途ご報告 P.4-5

2021 地球家族カレンダーが完成 P.6

南九州豪雨被災者に家庭用常備薬提供 P.7

「コロナウイルスの脅威が過ぎ去ることを  
祈り信じて、互いに助け合おうとしましょ」

COVID-19 「緊急救援募金」受付中



## 国連が飢餓人口を下方修正？

# それでもなお険しい飢餓ゼロへの道

国連の5つ機関 (FAO/IFAD/UNICEF/WFP/WHO) が共同で制作した「世界の食料安全保障と栄養の現状」2020年版によると、世界人口の5分の1を占める中国を含む13カ国の食料消費の新しい調査データを入手できたということで、より正確な評価として栄養不良の状況にある人数を2000年まで遡って修正されました。それによると昨年、2018年の飢餓人口は8億2,160万人と発表されましたが、6億8,780万人に変更されました。

一方で2019年には7億5,000万人近くが深刻な食料不安にさらされたと報告しています。中程度の食料不安の影響を受けた人々を合わせると、2019年に安全で栄養価の高い食物を手に入れることができなかった人は、世界の推定20億人でした。

## コロナとバッタで食料不足が加速

その上に2020年には新型コロナウイルスの大流行と東アフリカでの前例のないバッタの発生によって、世界経済の見通しが不明瞭になり、特に弱い立場の人たちを

中心に栄養不足に陥る人がさらに8,300万人から1億3,200万人増加するとの見方が強まっています。

飢餓人口の分布も変化しつつあり、現在はアジア地域が世界の半数以上を占めていますが、2030年にはアフリカ地域が半数以上になると予測されています。このような状況からSDGsが開始されて5年たった今、目標2の“飢餓の撲滅”の達成は難しい状態です。

この目標を達成するためには、人々が栄養価の高い食事を十分に食べていること、そしてそれを手に入れることが可能であることが必要です。このような食事は、必要なエネルギー量を満たすだけの食事の5倍高価であるとされています。従って健康的な食事をとれない人は、現在世界中で少なくとも30億人(世界人口の4割近く)はいると見積もられています。

ハンガーゼロはこのような数字に臆することなく、“1人が1人”に愛の手を差し伸べることで飢餓・貧困に苦しむ全ての人々がその困難を克服できると信じて、皆さまと共に出来る限りの支援と励ましを続けたいと願っています。

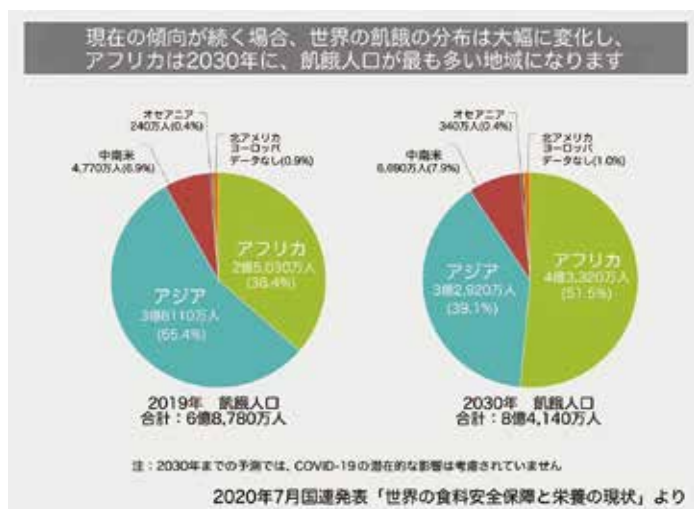
「アフリカの希望のために」を掲げている今年の世界食料デー募金にぜひご協力ください。右頁に案内があります。



コロナ対策としての食料配給 (FH ボリビア)



バッタの被害はアフリカからアジアにも拡大



備蓄をしながら社会貢献



世界にパンを届けよう

**救缶鳥**  
Kyu-Can-Cho

皆様から回収された救缶鳥は各地に飛んでいきました！



食料が不足している、国内外の豪雨・地震等の災害被災地や、海外の飢餓地域等へ送られました。



おいしさと夢をお届けします。  
**株式会社パン・アキモト**

パンの缶詰  
since 1995

〒329-3147  
栃木県那須塩原市東小屋295-4  
TEL 0287-65-3351

パン・アキモト

世界食料デー わたしから始める、世界が変わる

# World Food Day

2020「世界食料デー月間」10/1(木)▶11/30(月)

新型コロナウイルスの蔓延は世界中の人々に大きな影響を与えています。今年支援を予定しているアフリカ5カ国（コンゴ民主、ルワンダ、エチオピア、南スーダン、ケニア）では、それまでの食料難や衛生的でない環境に加え、社会封鎖（ロックダウン）や、極めて厳しい経済活動の制限によって仕事が奪われ、生活が困難になっています。今年はコロナで「世界食料デー大会」の開催数が減少するため、ハンガーゼロでは10・11月を「世界食料デー月間」といたしました。ぜひ「アフリカの希望のために」募金協力や新たな取り組みへのご参加をお願いいたします。

For Africa

アフリカの希望のために



PLAY

動画スタート



募金方法  
は最終頁

## 1 募金箱を使ってご協力を

昨年 1,306万円 ▶ 目標 1,500万円!

昨年度の世界食料デー募金は1,306万円でした。募金箱（大小あり）を使って個人で、会社や教会で、仲間たちと募金を募って持ち寄ることで昨年以上の支援を、飢餓と貧困、そしてコロナで苦しむ人々に贈りましょう!

※昨年の食料デー募金の詳しい報告は次ページを参照



募金箱が必要な方はハンガーゼロ各事務所にお問い合わせ下さい

## 2 誰かに伝えよう! YouTube オンライン大会

現在 350人 ▶ 1,000人登録へ!

10月16日の世界食料デー当日にYouTube生配信をします!(夕方以降を予定)これは見て下さる方参加型の生放送で、皆さんのコメントで番組の流れがどんどん変わったたりするハプニング大歓迎の楽しい時間になります。内容は「某有名なテレビ番組のパロディ?!」や「ハブラシでファンタジーアート?!」、「皆さんと一緒に考えるハンガーゲーム!」等を準備中です。どなたもぜひご参加下さい!

※まずはYouTubeチャンネル登録1,000人にご協力を!

YouTube hungerzero 検索

## 3 今年も集めます ハブラシ回収で募金

昨年 2,247本 ▶ 目標 10,000本! (※1万人分)

使用済ハブラシの回収で1本2円の募金ができます。大人も子どもも、家族で会社で、あなたが呼び掛け人になって食料デー月間に集めてみませんか。

※詳しくはホームページ参照



⑥手作りハブラシで回収アピール (2019世界食料デー京都大会より)



※冊子を希望される方はハンガーゼロ各事務所にお問い合わせ下さい。ホームページからもダウンロードができます。

冊子とネットで挑戦してみね

### 「アクションブックレット」



みなみくん

世界食料デーに合わせ毎年制作される小冊子。今年は支援するアフリカ5カ国について、みなみくんと一緒に学びながら、自分にできる「アクション」を考えていきます。(A5判・8ページ)

### 大会開催についての大切なお知らせ

全国で開催される世界食料デー大会は、各地の実行委員会により開催されます。8月15日現在、①仙台②京都③東大版④芦屋⑤岡山⑥沖縄(沖縄は6会場)で大会が計画されておりますが、国内における新型コロナ感染が大きく広がる中で、開催が困難になることも想定されます。このため大会日程及び内容につきましては、9月上旬を目処にホームページでお知らせいたします。何卒ご理解のほどお願いいたします。



ハンガーゼロHP

昨年は全国で28大会が開催され、各実行委員会では行政機関や教会や学校、支援グループと力を合わせて、大会を運営、支援の輪が広がりました。ご協力感谢您いたします。



2019年世界食料デー 募金総額 1,306万5,269円

## の現地活動に用いました

※募金総額から事務経費と印刷費に685,269円(約5%)が使われています。

ケニア

フィリピン

コンゴ

インド  
ネシア

### ケニア共和国 【支援額 100万円】

#### 学校に貯水タンク、トイレ設置

ハンガーゼロは現地パートナー、FHケニアと協力して、メルカウンティ、ブウリクスターの13の学校で保健衛生環境の改善と保健衛生意識の向上に取り組むプロジェクトを支援しています。

若いうちに衛生的な生活習慣を身につけることは、その後の人生における健康の保持に大きな影響を及ぼします。FHケニアは、10校の健康クラブの400人のメンバー(男女200名ずつ)



を対象に衛生的な生活習慣と健康との関係について学び実践するためのトレーニングプログラムを行いました。トレーニングは、受講した子どもたち自身が衛生的な生活習慣を身につけるだけでなく、子どもから家族や友達にもその知識が伝えられ、衛生的な生活習慣が広がるように組み立てられています。手洗い、入浴や歯磨き、人や家畜の糞尿の始末や掃除、バランスのよい食事、健全な人間

関係などについて学んだメンバーは、学んだことをその都度実践して、友人や家族のお手本になりました。また学んだことを活かして、学校の敷地内の藪を伐採したり、毎朝手洗い用の水を補充したり、毎週ゴミを収集して燃やしたりと学校ごとの課題解決に取り組みました。

カイルニ、ロイレ、ルワレラの3つの小学校には、合計579人の生徒(男329、女250)が通っていますが、各学校に容量5,000リットルの貯水タンクが設置されました。

#### ●5つの小学校に1,473人が通う

また、カルマンティ、ムムイ、ンコロイボロ、ロイレ、キボリオネの5つの小学校には、合計で1,473人の生徒(女



883、男589)が通っていますが、生徒数に対してトイレの数が少なく、常に長い順番待ちをしなければなりません。トイレの数が少ないことで、急いで用を足さなければならず、またトイレを

衛生的に保つことが困難なため、生理中の女子生徒は学校を休みがちになっていましたが、新しく6つのトイレが設置されました。(写真④は設置した女子トイレ)

### フィリピン共和国 【支援額 434万円】

#### 子ども教育支援、地域リーダー育成

ハンガーゼロは現地パートナー、ハンズ・オブ・ラブ・フィリピン(HOLPFI)と協力して、ミンドロ島のアルサビ(旧マイ)地区で、地域住民による子どもの教育環境改善の取り組みを継続して支援しています。この取り組みが引き続き住民主体で持続的に実施され広がっていくための地域リーダーの育成にも力を入れています。



村の移転後に再開した学校の様子。(次号で現地活動報告を掲載予定)

HOLCのジェロームスタッフ（右端）



## コンゴ民主共和国 【支援額 604万円】

### 共同農園、家畜飼育支援、リーダー育成

ハンガーゼロは、現地パートナー、ハンズ・オブ・ラブ・コンゴ (HOLC) と協力して、上カタンガ州プウェト地区の5つの村 (ルヴァ、チャンフブ、ルンキンダ、カコイナ) で、元国内避難民と村人の共同農園の取り組みを継続して支

援しています。農業プログラムでは、ピーナッツ、トウモロコシ、豆、トマト栽培に取り組み、着実に収穫を得るようになり食料確保が改善してきています。

また、家畜支援ではヤギの飼育にも取り組む中、生まれた子ヤギをプログラムに参加している家庭に提供するアイデアが生み出されてよい成果を上げています。

HOLC ではこの取り組みが住民主体で持続的に実施されていくように地域リーダーの育成に取り組んでいます。リーダー育成プログラムでは、持続可能な開発を通じて地域の変革を実現していくための知識や課題に対処できるようにトレーニングを行っています。



## インドネシア共和国 【支援額 100万円】

### 農家の技術支援、母子栄養改善

ハンガーゼロは、現地パートナー FH インドネシアと協力して、西スマトラ州南シブルット島の3つの村で子どもたちの発育阻害の問題を解決するための栄養改善プロジェクトを推進しています。

発育阻害の背景にある深刻な栄養不良と農産物の需要の低さから来る農家の低所得を同時に解決するため、卵、ミルク、野菜などの栄養価の高い農作物を供給できるよう農家を技術的に支援し、母親グループと連携して 330g の野菜、卵 2 個、山羊の乳 220ml が入った栄養食品バスケットを供給する仕組みを作りました。

栄養食品バスケットの取り組みに参加している 18 人の農家は、週に一度、農業センターに集まって、農業トレーニングを受け情報交換を

しています。それまで山羊や羊を飼う習慣がありませんでしたが、自然に生えている草や豆が餌になること、山羊や羊の糞から肥料を作り、野菜の栽培に役立てられることを学びました。またほうれん草、ケール、なす、豆類、からし菜、しる菜など様々な野菜の栽培についても学び、1 週間の生産量は、平均して山羊のミルクが 12 リットル、卵が 50 個、野菜が 200kg になりました。



食事、石鹸を使った手洗い、清潔なトイレ、家庭で役立つ薬草など、家族の健康のための学びと話し合いを行っています。

これまでミルクを飲む習慣がありませんでしたが、2 歳未満の子どものいる母親が栄養食品バスケットを購入した場合には、ミルクが 1 本無料でもらえるキャンペーンを行い、質のよい栄養のある食品を十分な量摂ることの重要性の理解を図りました。



FH インドネシアは、栄養食品バスケットの取り組みを持続可能なものとするため、プロジェクトの開始当初から 3 つの村の村役場との協力関係の構築にも力を入れています。すべての村がプロジェクトを好意的に受け止めており、そのうちの 1 つの村では栄養食品バスケットの活動を支援するため、農家への山羊の提供を申し出ました。

栄養食品バスケット (約 1 ドル) は、市場価格よりも低く設定されていますが、それでも一部の母親たちにとっては負担となっていて栄養食品バスケットの購入が定着しません。その解決のため、様々な食品からバランスよく栄養を摂ることの重要性についての啓発に力を入れると同時に、取り組みに参加している農家グループの役に立つヤム芋、キャッサバ、トウモロコシなどの農作物での支払いを可能にしました。また、3 つの村すべてに、村の予算から栄養食品バスケットに補助金をつけてくれるように要請し、交渉を継続していますが、農家への山羊の提供を申し出られた村が前向きに検討してくれています。

母親グループも毎週集まり、健康的でバランスの取れた



# HungerZero Calendar 2021



ハンガーゼロ協力企業  
キングダムビジネスから

## 2021年カレンダーが完成!!

紙を厚くして、書き込みスペースも大きくしました

日頃より世界の飢餓貧困に苦しむ隣人に目を向け、Hunger Zero の活動にご支援と励ましを続けてくださっていることを感謝申し上げます。

この2021年『地球家族カレンダー』を通して、Hunger Zero が皆様と共に支援している国々の子どもたちや人々の生活をご覧頂き、さらにこれらの人々への関心を深めていただければ幸いです。

写真は国際飢餓対策機構が撮影したもので、今回もサイズはA4版(見開きA3版)ですが、昨年よりカレンダーの紙質が厚くなると共に、書き込みスペースも少し広がっています。

皆様のご利用をお待ちしております。

**【価格】** 1冊 1,100円 (税、送料込) 国内へのお届けに限ります。  
 ※4冊までは郵便、レターパックで送料込みでお届け。(沖縄・北海道も含む)  
 ※5冊以上は宅配便で送料込みでお届け。但し、北海道と沖縄は1梱包につき800円をご負担いただきます。

**【お支払い】** 後払い  
**【お申し込み】** (株)キングダムビジネスで検索  
 スマホはQRコードから  
 電話：06-6755-4877  
 FAX：06-6755-4888でも承ります。  
 ※販売益の一部がハンガーゼロの活動に用いられます。



このカレンダーは2020年7月現在「国民の祝日に関する法律」に基づいて制作されました。2021年に「東京オリンピック2020」が開催された場合に祝日が移動することもあります。



ロングライフは、**「ヘルス & ナチュラルビューティ」** みなさまに「健康」で「美しい」人生を過ごしていただくためのラグジュアリーなサービスをご提供いたします。

私生活を健やかに愉しむ。  
好きなことを楽しんでいただくために、パーソナルな運動メニューなどでお一人ひとりの健康を日々サポート。

食から人生をより豊かに。  
旬の食材を使って作る美味い料理は、最新の長寿医学に基づいたメニュー。人生100年時代のための食事サポート。

年齢を重ねてこそ美しく。  
いつでもご自分らしく輝き続けるために、パーソナル美容アドバイザーなど人生そのものをもっと楽しんで美しく。

ロングライフで、**もっと素適に! ずっと楽しく!**

*Health & Natural Beauty.*

皆様のセカンドライフに寄り添い35年

私たちロングライフグループは、ハンガーゼロの活動を応援しています。

国内外268のサービスステーションを展開  
人生は、まだまだ素適になる。

**ロングライフグループ**

大阪本社：〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル25階  
東京本社：〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

☎0120-550-294

※「協賛広告」を募集しています。ウェブにも掲載。詳しくは大阪事務所まで

豪雨災害で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます

# 南九州豪雨被災者に家庭用常備薬提供

～九キ災の活動現場からの要望に対応～

ハンガーゼロは南九州豪雨被災者支援のため、現地で活動している「NPO 法人九州キリスト災害支援センター」（九キ災）に対してこれまでにパンの缶詰2万食分（協力：パン・アキモト）の緊急輸送などを行っています。

この8月には、九キ災の横田理事長（元ハンガーゼロ理事）から、「被災者に常備薬のニーズがあります」との声が届いたため、かぜ、頭痛、腹痛の薬、湿布。絆創膏などを詰めた家庭用常備薬セットを提供（協力企業の中京医薬品から調達）しました。



九キ災は、2016年に発生した熊本・大分を襲った地震で被災された方々を支援するために地元のキリスト教会らで生み出されました。ハンガーゼロは、熊本地震や翌年の九州北部豪雨でも物資提供やスタッフ派遣などで同団



体と活動を共にしてきました。

今回の南九州豪雨では、被災地の熊本や福岡にスタッフを常駐させて、ボランティア活動（物資配布、被災家屋の片付けや洗浄作業など）のほか写真洗浄（アルバムやフィルム類）など被災者に寄り添った支援を続けています。また、熊本地震被災者への支援活動も継続しており、コロナの影響で仮設住宅に閉じこもりになっている高齢の被災者を訪問する活動が NHK ニュース（熊本放送局）でも取り上げられています。

ハンガーゼロはコロナの感染予防策として、九キ災への人材派遣は控えていますが、今後とも現地被災者ニーズに応じていきたいと考えています。

写真協力：九州キリスト災害支援センター

公式 HP：<https://kyusyuchristdrc.wixsite.com/kumamoto>

## FHのコロナ支援短信（バングラデシュとボリビア）

●FHボリビアが支援地域の生活困難家庭に配布する『基本食料品とコロナ感染予防保健衛生キット』3,000パックのための募金は満たされ、7,257パックを配布することができました。ハンガーゼロもこれを応援しました。

●FHバングラデシュはロヒンギャ難民に対する共同対応プログラムを通してロヒンギャ難民の COVID-19 罹患者隔離治療の支援を行っています。100万人以上が暮らす難民キャンプには 200 しかベッドがありません。1 平方マイル (2.59 平方キロメートル) に人口 10 万人のキャンプ内でソーシャル・ディスタンスを確保するのは非常に困難となっています。

※ FH = 国際飢餓対策機構

聖書の学び会

イエス・キリスト エクレシア

## よろこび研究会

**真理はあなたを自由にします。** ヨハネ福音書8章32節

— この御言葉を中心として「よろこび」を学んでいます —

真理のことばで“よろこび”をお届けしています。

- ① 聖書、みことばをわかりやすく
- ② 日常生活に適用できるように
- ③ より実践的に

毎月新たな聖書箇所を読み、お一人お一人の状況に照らしてメッセージをしていきます。初めての方でも大丈夫です。共に学び、よろこびを探求しましょう。

メッセンジャー：奥田英男 【参加自由・無料・席上献金有り】

<http://yorokobi-lab.com/>

✉ [Info@yorokobi-lab.com](mailto:Info@yorokobi-lab.com) 042(553)0511 (オクダ建設内)



## コロナ感染から守る「緊急救援募金」に応援をお願いします

募金は、郵便振替又はウェブサイトからクレジットカード決済が利用できます。  
 ウェブサイト <https://www.jifh.org> ※ハンガーゼロで検索又は右 QR コードから  
 郵便振替 00170-9-68590 日本国際飢餓対策機構 ※記入欄に「緊急救援募金」と明記  
 募金集計：8月11日時点で約621万円、皆さまの応援を心より感謝いたします。



スマホから募金ページに



ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓蒙を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、18か国60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころからだの飢餓」に応える活動をしています。



キングダムビジネスから  
**非常備蓄食 救缶鳥 Jr**

毎年9月1日は「防災の日」。  
予期せぬ地震や台風など緊急時にあれば安心の備蓄食。ふたを開けるだけで出来たてのような柔らかいパンが食べられる、非常備蓄食 救缶鳥 Jr! 既に備蓄されている救缶鳥の賞味期限をお確かめください。まだ備蓄されていない方は、ぜひご用意ください。1缶100g入りでオレンジ、ブルーベリー、ストロベリー味の3種類が各8缶、計24缶入りのセットでお届けします。

1セット10,820円 税・送料込  
※賞味期限: 製造より37ヵ月  
※2年半後飢餓や災害に苦しむ人々の元へ届ける活動に参加できます。

**お申し込み、お問い合わせ:**

(株)キングダムビジネスで検索  
電話: 06-6755-4877

FAX: 06-6755-4888

でも承ります

スマートフォンは

QRコードから▶

【お支払い方法】

当社指定口座へ

先払い

郵便振替 00950-0-216776

(株)キングダムビジネス

ご入金確認後 約2週間でお届けです。



**インスタキャンペーン**

**#世界たべもの日記**

世界食料デーに向けて、ハンガーゼロのインスタグラムで、各国・各家庭で食べられている食事や、食材・食品の豆知識などをご紹介します。この世界の食事・食べ物の奥深さをぜひ一緒に味わってみてください!



世界たべもの日記で 検索!  
(期間: 6月16日~10月16日)

**Child Supporter**  
チャイルドサポーター



お申し込みや資料請求はスマホでQRコードでサイトまで

**ルワンダで支援活動を開始!  
チャイルドサポーター募集中**

お電話でも受付ます 直通TEL072-920-2226



▲学校トイレが少ないために順番に並ぶルワンダの子どもたち

**サポーターお申し込み欄 FAX072-920-2155**

氏名	
(TEL)	
住所	〒
申込日	年 月 日 NL 362号

※記入後にスマホで撮影し、下記メールアドレスにお送り頂いても受付いたします。

<input checked="" type="checkbox"/>	下記から希望されるものをお申し込みください
<input type="checkbox"/>	ハンガーゼロサポーターとして協力します。 ①毎月( )円 □(1000円) ②一時募金として 円協力します。
<input type="checkbox"/>	継続募金(JIFH サポーター)として協力します。 毎月( )円 □(500円)
<input type="checkbox"/>	チャイルドサポーター(子ども1人毎月4,000円)の説明書(申込書)を送ってください。
<input type="checkbox"/>	郵便自動引落とし申込書を送って下さい。
<input type="checkbox"/>	その他の銀行自動引落とし申込書を送って下さい。

上の申込書をコピーして必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にて大阪事務所までお送りください。届きましたら確認書類等を送らせていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

Hunger Zero サポーター 現在... **48520**

**2020年世界食料デー For Africa の募金先**

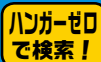
- (1) コンゴ民主共和国: 地域リーダー育成、農業支援
- (2) ルワンダ: 小規模農家への持続可能な農業支援
- (3) エチオピア: エイズ孤児などへの食料支援
- (4) 南スーダン: 学校給食支援
- (5) ケニア: 食生活安定のための農業支援

募金方法は2種

①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構「世界食料デー募金」と明記。 ②ウェブサイトからは、9月上旬に公開する世界食料デーサイトから募金ができます。

■発行者 清家弘久

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構



Webサイトアドレス <http://www.hungerzero.jp>  
eメールアドレス [general@jifh.org](mailto:general@jifh.org)  
フェイスブック facebook でハンガーゼロで検索

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト  
①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構  
②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1  
TEL (072)920-2225 FAX (072)920-2155  
広島  
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室  
TEL (03)3518-0781 FAX (03)3518-0782  
東北  
愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3 名古屋YWCAビル6F  
TEL (052)265-7101 FAX (052)265-7132  
沖縄 〒900-0033 那覇市久米2-25-8 メソソク米202号  
TEL (098)943-9215 FAX (098)943-9216  
USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa  
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605  
TEL (510)568-4939 FAX (510)293-0940



Hunger Zero



JIFH



チャイルドサポーター

●Tポイントを利用して「南スーダン・マブイ小学校給食支援」ができます。現在までに887,246ポイント(円)のご協力(9,872件)がありました。Tポイント募金で検索。  
●「つながる募金」はスマートフォンからご利用できます。募金は、ソフトバンクモバイル(株)経由となります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。